

年頭所感

一般社団法人 日本オートケミカル工業会
理事長 湊田 昌嗣

新年あけましておめでとうございます。

2021年の幕開けは、2020年初頭から流行している新型コロナの影響から抜け出すことができず、引き続き自粛生活を余儀なくされています。

2020年に培われた習慣は、「マスク着用」と「マイバッグ」（エコバッグ）です。それまでは必須でなかったことが浸透し、いまや常識となりつつあります。

コロナによる飲食業、観光業への打撃、医療従事者のご苦労などは、創意工夫ではもはや乗り切れない状況となっていますが、かたや「巣籠もり需要」の中、人々はどのようなことに時間を費やしているのでしょうか？ インドアだからできること。家や車のケア、ゲームやYouTube等でしょうか。

私たちの業界では、例年に比べコンシューマー用のケミカル用品は需要を伸ばしていません。掃除、洗車はもちろん、自宅にいる時間が長くなったためか、補修にも積極的です。

従来車用の補修ペイントは、タッチアップペン式ペイントによる簡単補修が多い傾向にありましたが、このコロナ禍で需要は逆転し、エアゾールペイントの需要が伸びています。

YouTubeなどでも「補修のやり方」「自分で直してみた」「私にもできた」など、沢山のガイドダンスがアップされ、自分もやってみようという喚起にもなっています。

一旦こういったことが広まると、連鎖し、改めて日本の購買力、需要力の高さを感じざるを得ません。

コロナ禍で車をきれいにする、補修するという行為が、人々に認められ、コロナが終息したあとでも「よくできた、今後も時折続けていこう」と思うか、「やはり難しいな、無理だな」と思うかで、本物の需要になるか、一過性のもので終わるかの分岐点になると思います。

いままでの生活、常識が変化したときに生まれる需要など、メカニズムを読み切るのは容易ではありませんが、コロナ禍の経験を通して良きにつけ悪しきにつけ、常に「需要の変化」を意識していくことは、オートケミカル製品を提供していく私たち工業会会員のビジネスにおいて、極めて重要な意味を持つことは言うまでもありません。

最後になりましたが、コロナが一日も早く終息し、2021年がより良い年となりますよう、皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。